

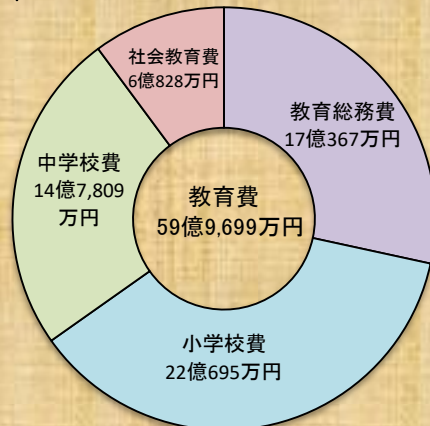
令和4年度 教育費予算

草加市教育委員会では、第三次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」のもと、子どもたちに必要な「生きる力」を育む施策をさらに推進するために必要な予算を編成しました。概要については、次のとおりです。

令和4年度草加市教育費予算 59億9,699万円

児童生徒1人当たりの予算額(学校教育に直接かかわる予算のみ) ⇒ 22万2,724円

- ★**教育総務費**…教育委員会運営費、学校教育補助員・ALT(語学指導助手)等の配置、学力向上や子ども教育の連携への取組、特別支援教育・教育相談活動への取組、入学準備金・奨学資金の貸付など
- ★**小学校費**…小学校施設における維持管理や施設整備の経費、学校給食の運営、ICT教育環境の整備、教材用・管理用備品の整備、就学援助など
- ★**中学校費**…中学校施設における維持管理や施設整備の経費、学校給食の運営、ICT教育環境の整備、教材用・管理用備品の整備、就学援助など
- ★**社会教育費**…公民館や図書館等の維持管理の経費、文化財の保護、そうか市民大学・大学公開講座・二十歳のつどいの開催、生涯学習に関する経費など



令和4年度の主要事業

情報教育環境の充実

GIGA(ギガ)スクール構想に基づき整備した児童生徒1人1台のタブレット端末や各校の普通教室に整備した大型提示装置等のICTを効果的に活用し、教育の情報化に対応した学習活動の充実を図ります。

学力向上への取組

市独自の学力・学習状況調査を実施します。各種学力調査の結果を分析・活用し、各校の授業改善を図り、児童生徒のさらなる学力の向上につなげます。また、中学校において放課後学習等の取組を実施し、基礎学力の定着を図ります。

子ども教育連携の推進

これまでの交流・連携や委嘱研究の成果を踏まえて、訪問や各種資料の改訂を通して各園・各学校を支援し、引き続き、市内全ての中学校区で、幼保小中を一貫した教育の充実を図ります。

「SOKAいっぽ」の充実

日本語指導を必要とする外国人児童生徒等を対象とした、日本語指導教室「SOKAいっぽ」の充実を図り、初歩的な日本語や日本文化の学習を支援します。

特別支援教育体制の充実

障がいのある児童生徒の多様化する教育的ニーズに対応できるように、幼保小中の各施設や特別支援学校との連携を深めるなど、支援体制の整備・充実を図ります。

コミュニティ・スクールの推進

全小中学校をコミュニティ・スクールとして、学校・家庭・地域が目標を共有し、連携・協働を図り、地域とともにある学校づくりを進めます。

屋内運動場へのエアコン等設置

小中学校18校で、災害時に避難所となる屋内運動場へのエアコン設置等工事を行い、避難所機能を強化するとともに、教育環境の改善を図ります。
今年度に、全小中学校の屋内運動場のエアコン等設置が完了します。

不登校対策のための人的支援

不登校などの個別の課題に対応するため、臨床心理士及びスクールソーシャルワーカーなどを活用し、関係機関との連携を深め、一人ひとりの状況に応じた、きめ細やかな支援の充実を図ります。

教職員の働き方改革の推進

ICカードにより、教職員の勤務時間を把握し、教職員の業務量の適切な管理を行うとともに、校務支援を行うスクール・サポート・スタッフを配置することで、教職員の業務改善を図ります。

中央図書館の充実

ユニバーサルデザインに配慮した電子図書館の充実や、児童書に重点を置いた魅力ある蔵書の整備、公民館図書室等とのネットワークの活用により、図書館資料を効果的・効率的に提供します。

国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用

国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」を未来へ継承する風景地として、保存活用計画に基づき、適切な保存に努めていきます。